

論文向け 学習戦略ガイダンス



CPA Presents

第1部

論文式本試験合格のための
学習戦略総論

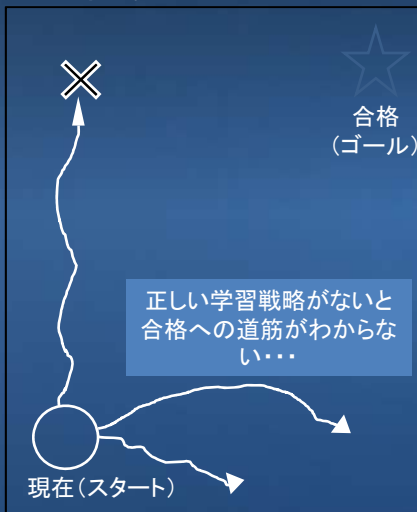
1

学習戦略の基本

3

正しい学習戦略とは

正しい学習戦略がなければ・・・



正しい学習戦略があると・・・!!



4

正しい学習戦略とは



正しい学習戦略は旅をする上での正確な地図である

地図を持っていない
地図が間違っていた

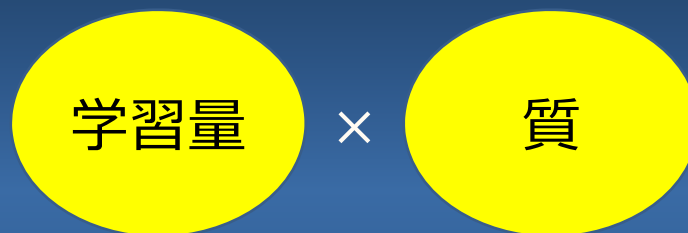
そうならないために、まずは正確な地図である学習戦略の立案が不可欠である。

5

正しい学習戦略の全体像



目的地と現在地を正確に把握し、
学習量×質×モチベーションをベースとする学習戦略を立案する



モチベーション

6

まずは正しい原因分析を行う



【学習の量に関する分析】

- ・学習時間は「継続して、十分」確保できていたか

【学習の質に関する分析】

- ・「理解の程度」は合格するために、十分だったか
- ・わかったつもりになっていなかったか
- ・「暗記するポイント」を意識して学習できたか
- ・暗記したつもりになっていなかったか
- ・適時学習計画・学習方法の修正ができていたか

来年の8月に合格するために、原因分析をしてしっかりと対策を考え実行することが重要

7



2

学習の量

8

論文本試験までの学習時間比較！



| | 1日の 学習時間 | 週の 学習日数 | 週の 学習時間 | ケース1との トータルの時間差 | ケース1との トータルの日数差 |
|------|-------------|------------|------------|--------------------|--------------------|
| ケース1 | 8時間 | 6日 | 48時間 | | |
| ケース2 | 10時間 | 6日 | 60時間 | 420時間 | 52日分 |
| ケース3 | 10時間 | 7日 | 70時間 | 770時間 | 96日分 |
| ケース4 | 12時間 | 7日 | 84時間 | 1,260時間 | 157日分 |

- ・論文式本試験まで245日（35週）とみなしています。
- ・約9か月間（245日）、ケース1とケース4では157日分（5か月分）も学習量が異なってしまいます。
- ・本試験前日に、あと30日あれば、あと60日あればどれだけ成績が変わるかを想像すると、毎週どれだけ追い込んで学習できるかは合否に大きな影響を与えます。
- ・論文までの残り9か月可能な限り学習時間を確保してほしいと思います。

9



3

学習の質

10

学習の質の大事な視点！



- わかった→できる→いつでもできる状態を目指す
- 理解と定着の関係性とバランス
- 重要性の判断のやり方
- 一つひとつの学習のやり方
- 適切な学習計画の立案方法
- 現状分析の仕方と学習計画の修正方法
- 科目別の学習目標
- 時期別の学習目標

効率的に論文式の点数を上げるかという目標から
落とし込むことが大切

11

第2部

質の高い学習とは



12

1

科目別の学習目標

13

科目ごとの配点と特徴を把握する！

| 科目 | 配点 |
|-------|----------------|
| 財務会計論 | 計算 70点 理論130点 |
| 管理会計論 | 計算 60点 理論 40点 |
| 監査論 | 理論100点 |
| 企業法 | 理論100点 |
| 租税法 | 計算 60点 理論 40点 |
| 経営学 | 計算 50点 理論 50点 |
| 合計 | 計算240点 理論 460点 |

※ 論文は素点で40%～45%程度がボーダーである。

14

科目ごとの配点と特徴を把握する！



- 短答科目の理論部分370点部分で稼ぐ
- ボリュームの少ない経営学で稼ぐ
- 計算部分は最低限守りつつ、稼げる方は稼ぐ

15

2



理解と定着の関係性とバランス

16

学習のステップ



①わからない→

②わかったつもり→③わかった→

④できない→⑤できるつもり→⑥できる→

⑦いつでもできるつもり→⑧いつでもできる

③わかった・⑥できる・⑧いつでもできる
状態にすることが重要

17

理解と定着の関係



③わかった がインプットのための理解

⑥できる がアウトプットのための理解

⑧いつでもできる が定着

理解が土台（木の根・ビルの土台）で、
理解の土台の上に、反復し定着（木の幹・ビル
の建物）をすることが重要

18

理解不足の状態



②わかったつもり ⑤できるつもり の段階

この理解不足だと

- ・何度反復してもすぐに忘れてしまう
- ・ケアレスミスがなかなか減らない
- ・基本問題でも初見の問題に対応しづらい
- ・応用問題に対応しづらい
- ・新たな論点の理解により時間がかかる
- ・問題に答えていないという課題が起こりやすい

19

理解の理想



- ・科目の大きな考え方から理解している
- ・論点の大きな考え方を理解している
- ・各論の理解を大きな考え方と繋げて理解している。
- ・論点の骨格のロジックを納得している
- ・単純な具体例で理解している
- ・答えを見ないで納得して問題が解ける
(これも理解のひとつ)

20

定着について



⑧ いつでもできる の段階

できる状態になっても定期的に複数回反復をしないといつでもできる状態にはならない。

また、②わかったつもり、⑤できるつものまま反復をしても、いつでもできる状態にはならない。

よって、正しい理解の後に必要な回数反復することが重要

21

定着のポイント



- ・自己テスト
- ・高速回転とじっくりのバランス
- ・答練の前日だけは高速回転で一回転

22

理論科目の学習方法のポイント！



| 内容 | 文章の精度 | 重要度 | 目指す目標 |
|----|-------|-----|------------|
| ○ | 高い | A | 内容 ○ 精度 高い |
| △ | 普通 | B | 内容 ○ 精度 普通 |
| × | 低い | C | 内容 ○ 精度 低い |

- まず正しい内容をすべての論点で書けるようにする。文章を覚えるのではなくロジックの確認と定着
- その後A・B論点のみキーワードや文章の精度を高める

23

論文に向けて大切なこと



理論科目

- ロジック・骨格の確認を
- 大きな考え方と繋げる意識を持つ
- どんな問題でも方向性と内容は合っている
- 重要性の高いものはキーワード文章を押える

計算科目

- 知識の結論と解法の定着を図る
- 総合問題対策は構造の理解に視点を置く
- 初見の問題で取るべき箇所が見極めれる

24

3

重要性の判断

25

重要性分析のメリット

過去の本試験の過去問分析に基づく、
重要性に応じた学習をすることは、
以下の2つのメリットがある

1. 勉強時間の大幅削減
2. 合格可能性の大幅上昇

時間を効率的に活用することが求められる
社会人の皆さんにとって、重要性分析は
特に重要である

26

重要性分析の優先順位



- ① 重要性 A の章の A・B 論点
- ② 重要性 B の章の B 論点

- ③ 重要性 A の章の C 論点
- ④ 重要性 B の章の C 論点
- ⑤ 重要性 C の章

27

過去問分析に基づく勉強戦略①



財務計算で高得点を獲得したい方・・・
網羅的に学習し、復習の強弱をつける

財務計算で効率的に合格点を取りたい方・・・
重要性の高い論点を優先的に学習する

28

過去問分析に基づく勉強戦略②

Aだけやろう,
Cは全部やらない

という二元論ではなく,

正しい情報を知ったうえで,
優先順位を間違えないこと。

4

一つひとつの学習のやり方

全ての行為に目的を設定する



- 講義を受ける目的？
- 質問する目的？
- テキストを復習する目的？
- テキストの読込を反復する目的？
- 問題集を解く目的？
- 問題集を反復する目的？
- 答案練習を受ける目的？

目的を意識し、アンテナを張り方を注意する

31



5

現状分析と計画修正の仕方

32

現状分析の仕方！



- 答練を必ず提出する
- 答練答練は、実戦練習と安定的に合格点を獲得するためには、何が必要かを把握することが目的
- 復習をする際には、どうすれば合格点を取れるかという視点に集中して復習する。
- 問題の解き方、構造の把握、知識の漏れなども、合格点を取るために必要な部分を補強する

33

スケジュール

34

スケジュールの概要



- 3月末まで講義を受講し理解を強化
- 上級答練で理解を確認
- 4月は本気で定着
- 4月末の論文式模擬試験で現状チェック
- 5月は再度理解の強化
- 6月以降は徹底的に定着
- 直前答練・第2回模擬試験で現状チェック

35

学習計画の立案に必要な項目



1. 講義を受講し理解を強化する
2. 講義の復習を行い理解を強化する
3. 疑問点を質問し、解決する
4. 答案練習で実践練習
5. 答練の復習・分析を行うことによって計画修正
6. 定期的に反復し定着を図る

36

学習計画の立案に大切な視点



- 1. から3. までのステップを、講義中、講義後の復習で必ずクリアする ③わかった⑥できる
- 勉強計画に6. の時間を十分に加味する ⑧いつでもできる
- 6. の時間は学習が進めば進むほど多くかかるという認識を強く持つ
計画にゆとりを持つ、なるべく借金を作らない
- 1. 2. 3. の時間を繰り返さない
(わかったつもり、できるつもりで進まない)

37

A large, light blue number '7' is centered on a dark blue background.

目標



38

目標



1. 最終目標
来年の論文式試験に合格する(上位35%)
(理解と定着の仕上げ)
2. 中期目標
4月末に実施される第1回論文式模擬試験
⇒ 全科目総合偏差点が合格偏差点以上を取る
(理解と定着の確認)
3. 中期目標を達成するために
全科目の基礎答練・上級答練で合格偏差点以上の偏差点を継続して取り続ける(理解の確認)

39

手段と目的を混同しない！



- ・ ゴールから逆算した時期別の目標！
- ・ 理解・定着・重要性の見極めの最終目標！
- ・ 時間ではなく、やることをベースに計画を立てる！
- ・ ○○の教材を何回転すればいいですか？
何時間勉強すればいいですか？
は、すべて手段。
すべて合格に必要な力を効率的に習得するために！

40

第3部

CPAの強み

41

CPAの9つの特徴

1. 理解重視のクオリティーの高い教材
2. 網羅性と重要性を両立したクオリティー高い教材
3. 理解重視のクオリティーの高い講義
4. 初学者向け講義と経験向け講義が見放題
5. 一人ひとりに合ったオリジナルカリキュラムの実現
6. クオリティーの高い個別フォロー制度
7. 自由に映像フォローが受けられるフリー受講システム
8. 専用自習室・映像ブースが豊富に用意
9. 実力は講師が多数在籍

42

最後に



何か相談がある方は、遠慮なく講師に相談してください。

論点の質問、学習方法の相談、学習計画の立案、モチベーションの維持etc
自分だけで悩むよりも相談した方が気付くこともあるので、遠慮なく相談してください！

合格を目指し、一日一日、最善を尽くしていきましょう！！